

## 事前質問回答表

項目		質問	回答
【交通】	交通計画	P. 19 駐車場台数を4500台としていますが、6万人の来場者の交通手段の内訳を示してもらいたい。	当社類似施設（大型商業施設）および万博記念公園の利用者実績から、自動車55%、鉄道18%、徒歩11%、自転車11%、バス3%、バイク2%と設定しています。（別紙1参照）
		P. 19 駐車場の台数を4,500台とした根拠を教えてください。	施設用途ごとに、当社既存施設の実績を考慮し、大規模小売店舗立地法指針の算出式などにより積み上げた結果、必要駐車台数4,327台（<4,500台）を算出しました。（別紙2参照）
		P. 19 事業計画地外の駐車場（特に隣接する駐車場）との連携の考え方及び計画を示してもらいたい。	平均的な休日の想定来館者数である約6万人の来館時には、事業計画地内の駐車場で不足することはないと考えておりますが、不足すると想定される場合（オープン時、年始、大型連休中日など）は、事業計画地外の駐車場（最寄りの中央駐車場をメインに考えています。）を利用して頂く計画としており、関係機関（万博記念機構）と駐車料金設定やサービス等について協議・連携を行ってまいります。
	動線計画	P. 19 万博外周にある自転車専用道路を利用して来館する自転車利用客の動線を示してもらいたい。	万博外周にある自転車専用道路を利用して来館する自転車利用客は、外周にある歩道橋や交差点にある横断歩道などを利用すると想定しており、外周道路の出入口部分での来館誘導を行います。（別紙3参照）
		隣接する予定となる（仮称）吹田市立スタジアムへの歩行者動線計画を示してもらいたい。	（仮称）吹田市立スタジアムへの歩行者動線は、本事業計画の北側と西側の既存の歩行者専用通路を利用すると想定しております。（別紙3参照）

項目	質問	回答	
【交通】	動線計画	緊急車両の動線計画を示してもらいたい。	今後、所轄消防署や警察と具体的な協議を行い、適切なルートを検討していきます。
	動線計画	貨物運搬車両、廃棄物収集車両、利用客による来館・退館車両及び歩行者の動線計画を示してもらいたい。	貨物運搬車両および廃棄物収集車両の動線については、今後、施設が適確に運用できるルートを検討していきます。利用客による来館・退館車両については、提案書P.20 図3.3-6に示すとおりです。歩行者の動線については、別紙3を参照下さい。
	交通対策	P.19 事業計画地内の駐車場が不足するような場合には、事業計画地外の駐車場を利用するとあるが、吹田市スタジアムが建設され試合が実施される日には、隣接の駐車場がほとんど使用できない恐れがあると思われが、どのような対応を想定されているのか教えてもらいたい。	隣接スタジアムのホームゲーム開催日や万博記念公園の桜まつり時などは、周辺の駐車場が使用できない状況が想定されます。これについては、モノレールやバスの公共交通機関の利用を促進するような販促策やパーク&ライドなど、関係機関（モノレール会社、バス会社、万博記念機構、スタジアム建設募金団体など）との協議・連携を行っていきたく考えています。販促策の他物件事例としては、当社で運営しているマリンピア神戸（垂水のアウトレット）で山陽電車・神戸電鉄とタイアップして、お得な買い物引換券付ききっぷを販売している、といったものがあります。
	交通対策	複数の出入り口及び事業計画地外の駐車場への案内誘導方法（案内誘導掲示板の設置の位置、駐車場の待ち行列の識別の対応を含めて）を教えてください。	今後、5者連絡会（スタジアム建設募金団体、万博記念機構、大阪府、吹田市、当社）にて情報交換、協議を実施する予定であり、案内誘導掲示板の設置位置等については現時点では未定ですが、施設周辺の道路状況がわかるようカメラ等を設置し、施設の出入口や道路の混雑状況に合わせた可変的な誘導看板設置や案内誘導等を考えています。また、交通誘導員を適宜配置し、適切な誘導に努めます。
調査・予測	P.152、153 交通混雑・交通安全の予測について、交通シミュレーション解析等と記載があるが、どのような手法で予測・評価するのか具体的に示してもらいたい。	交通混雑が想定されるポイントで調査地点を設定しており、その地点において車線別混雑度、交差点需要率、関連車両の影響割合等について定量的に、また歩行者の安全性に及ぼす影響等について定性的に予測・評価することを基本とします。	

## ●交通手段分担率

当社類似施設（大型商業施設）および万博記念公園の利用者実績から、以下の通り設定した。

自動車	55%	
鉄道	18%	
徒歩	11%	
自転車	11%	
バス	3%	
バイク	2%	合計 100%

## ＜参考＞

来館手段別比率(実績値)

	徒歩	自転車	自家用車	バイク	鉄道+徒歩	バス	タクシー	その他	合計
船橋	8.4%	7.1%	49.8%	0.9%	27.7%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜	19.3%	7.8%	50.7%	3.4%	13.6%	5.2%	0.0%	0.0%	100.0%
甲子園	12.8%	28.5%	38.2%	1.8%	16.3%	2.3%	0.0%	0.1%	100.0%
万博記念公園	10.3%	8.0%	52.7%	0.7%	23.6%	1.7%	0.2%	2.8%	100.0%
設定値	11.0%	11.0%	55.0%	2.0%	18.0%	3.0%	-	-	100.0%

(単位:%)

※調査実施日

船橋（ららぽーと TOKYO-BAY）：平成 23 年 10 月 23 日（日）、平成 23 年 10 月 24 日（月）

横浜（ららぽーと横浜）：平成 23 年 10 月 30 日（日）、平成 23 年 10 月 31 日（月）

甲子園（ららぽーと甲子園）：平成 23 年 9 月 11 日（日）、平成 23 年 9 月 12 日（月）

万博記念公園：平成 22 年 5 月 5 日（祝）、平成 22 年 10 月 23 日（土）

## ●自動車交通量の推計

## ①来店帰宅交通量の推計

実績値を用いて算出

面積表	物販	非物販	アミューズ	シネコン	教育施設	その他	合計
店舗面積	56,100 m <sup>2</sup> (16,970 坪)	8,600 m <sup>2</sup> (2,602 坪)	8,600 m <sup>2</sup> (2,602 坪)	4,800 m <sup>2</sup>	6,900 m <sup>2</sup> (2,087 坪)	1,900 m <sup>2</sup>	95,900 m <sup>2</sup>
店舗 バックヤード	6,200 m <sup>2</sup> (1,876 坪)	1,000 m <sup>2</sup> (303 坪)	1,000 m <sup>2</sup> (303 坪)		800 m <sup>2</sup> (242 坪)		
合計	62,300 m <sup>2</sup> (18,846 坪)	9,600 m <sup>2</sup> (2,904 坪)	9,600 m <sup>2</sup> (2,904 坪)	4,800 m <sup>2</sup> (1,452 坪)	7,700 m <sup>2</sup> (2,329 坪)	1,900 m <sup>2</sup> (575 坪)	95,900 m <sup>2</sup> (29,010 坪)

※物販：物販+その他サービス、非物販：飲食、アミューズ：水族館、その他：温浴施設として設定。  
物販及び非物販、アミューズ、教育施設は店舗バックヤードを10%と設定。

## 1.物販店舗及び非物販店舗、アミューズ

S：本計画物販店舗面積：56,100 m<sup>2</sup>

D：平均乗車人員：2.50 人/台

A：日來客原単位：850 人/千m<sup>2</sup>

E：平均駐車時間係数：2.30

B：自動車分担率：55.0%

F：併設施設係数：1.107

C：ピーク率：13.0%

※併設割合：17,200 m<sup>2</sup>÷56,100 m<sup>2</sup>=30.70%

併設施設係数：0.01×30.7+0.8=1.107

1 日來客数 = S / 1,000 × A × F

$$= 56,100 \text{ m}^2 / 1,000 \times 850 \text{ 人/千m}^2 \times 1.107 = 52,787.30 \approx \mathbf{52,787 \text{ 人/日}}$$

1 日來台数 = S / 1,000 × A × B ÷ D × F

$$= 56,100 \text{ m}^2 / 1,000 \times 850 \text{ 人/千m}^2 \times 55.0\% \div 2.50 \text{ 人/台} \times 1.107 = 11,613.20 \approx \mathbf{11,613 \text{ 台/日}}$$

ピーク時來台数 = S / 1,000 × A × B × C ÷ D × F

$$= 56,100 \text{ m}^2 / 1,000 \times 850 \text{ 人/千m}^2 \times 55.0\% \times 13.0\% \div 2.50 \text{ 人/台} \times 1.107 = 1,509.72 \approx \mathbf{1,510 \text{ 台/時}}$$

必要駐車台数 = S / 1,000 × A × B × C ÷ D × E × F

$$= 56,100 \text{ m}^2 / 1,000 \times 850 \text{ 人/千m}^2 \times 55.0\% \times 13.0\% \div 2.50 \text{ 人/台} \times 2.30 \times 1.107 = 3,472.35 \approx \mathbf{3,472 \text{ 台}}$$

## 2：シネコン

A：席数：2,000 席

C：ピーク率：12.0%

a：回転数：2 回転

D：平均乗車人員：2.50 人/台

B：自動車分担率：55.0%

E：平均駐車時間係数：3.00

1 日來客数 = A × a = 2,000 席 × 2 回転 = 4,000.00 ≈ **4,000 人/日**1 日來台数 = A × a × B ÷ D = 2,000 席 × 2 回転 × 55.0% ÷ 2.50 人/台 = 880.00 ≈ **880 台/日**

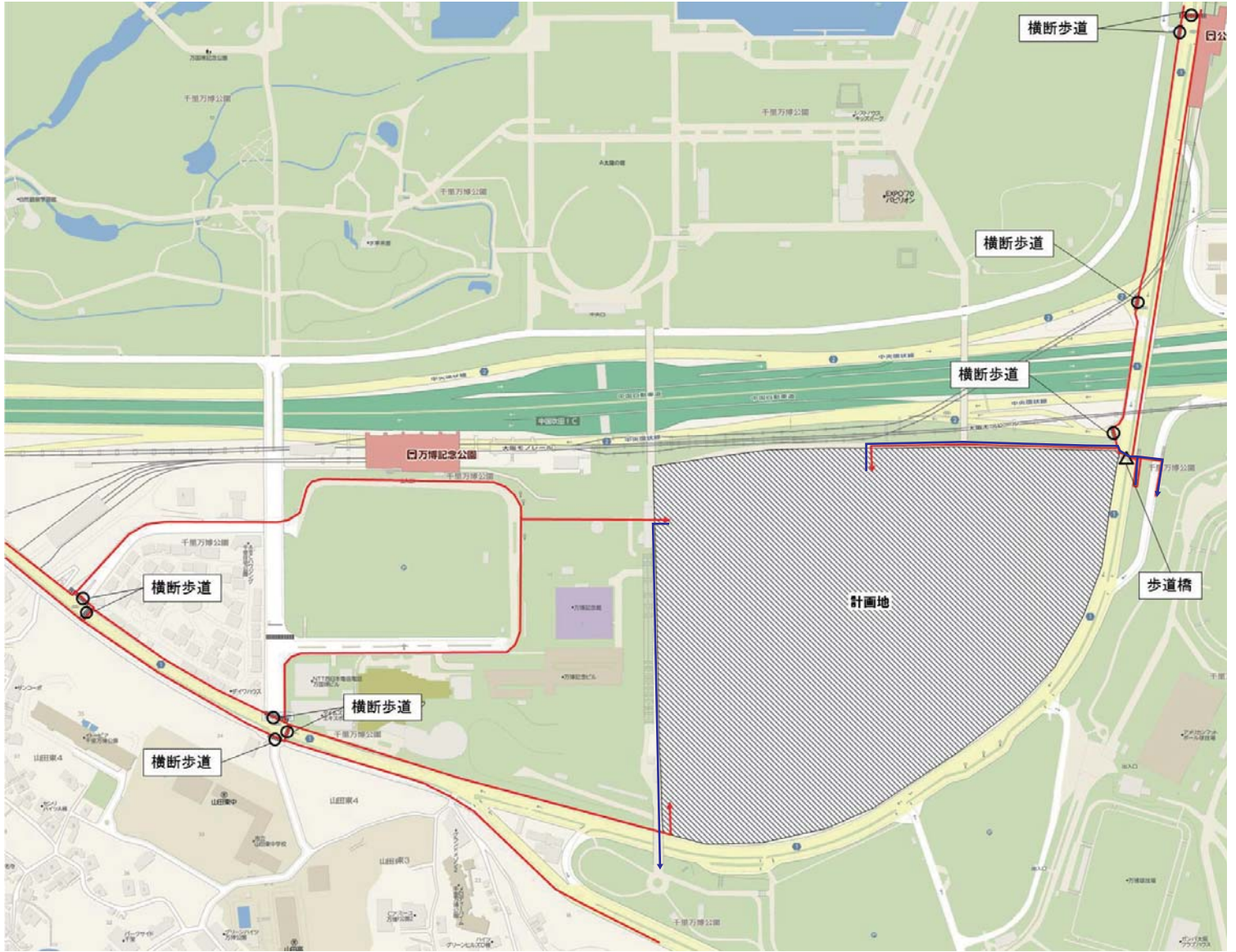
ピーク時來台数 = A × a × B × C ÷ D

$$= 2,000 \text{ 席} \times 2 \text{ 回転} \times 55.0\% \times 12.0\% \div 2.50 \text{ 人/台} = 105.60 \approx \mathbf{106 \text{ 台/時}}$$

必要駐車台数 = A × a × B × C ÷ D × E

$$= 2,000 \text{ 席} \times 2 \text{ 回転} \times 55.0\% \times 12.0\% \div 2.50 \text{ 人/台} \times 3.00 = 316.80 \approx \mathbf{317 \text{ 台}}$$





- 歩行者・自転車 来館ルート
- 計画地からスタジアムへの歩行者ルート